

新宮山彦ぐるーぷ第1875回
持経宿小屋でトレラン支援と行仙宿小屋流し台改良

及び笠捨山捲き道補修

◇実施日：平成28年5月14日(土)～15日(日)
◇参加者； 青木宏充、梶野照雄。 2名。

5月14日(土)晴

行仙宿小屋に忘れ物の確認に行くことになったので、先に10Lのポリタンクとシンクの上に付ける台を持って行仙宿小屋まで行くことにした。

池神社の休憩所でゆっくり昼食を摂りR425へ向かう。小屋到着後、隅々まで確認したが、落ちているのはゴミばかり。毛布を下ろして、たたみ直しながら確認するが何も見つからなかった。

10Lのポリタンクは登山口水場で満水にしてM機で上げた。先週上げたポリタンク2個よりもずっと楽だった。水は入れやすいように玄関脇に移した。



登山口で



M機で楽チン



毛布たたみ直し



水を玄関脇に移動



林道の倒木



トレランの2人

14時に小屋を後にする。15時過ぎに池原到着、まだ早いで久しぶりに「きなりの湯」に入る。JAFの割引を使うと、五月限定でタオルが一枚もらえた。

16時に池郷林道へ向かう。林道に入ると、舗装路に落石が多い、石ヤ塔の少し手前でパンクしてしまった。すぐにスペアに交換、約10分のロス。

ゲートを過ぎて少し走ると大きな倒木が道をほぼ半分塞いでいた。枝先には新しい切断跡があり、先行された沖崎さんが処理してくれた事を後日知る。

17時に持経宿到着。遅いと思っていた青木さんはすでに到着していた。小屋には人がいっぱい居た、昨夜の終電で吉野に着き、そのまま走ってきたトレランが2名、3日目の逆峯者1名と中八人山を目指す4名だった。

トレランの2名は仮眠しているので、不動堂で青木さんの用意してくれた焼肉で夕食を始める。

19時過ぎにトレランの2人に声をかけて出発準備、20時前に皆に見送られて闇夜へと出発した。



トレラン2名出発



トップランナー到着



ユニークな草鞋で

22時過ぎまでお堂で過ごし、23時小屋に戻って眠りについた。小屋内気温12.7℃で毛布一枚では少し寒かった。

5月15日(日)曇りのち晴れ

午前4時、照明の明るさと物音で目が覚める。我々を除いた5名が朝食の準備を始めていた。5時に1名は南下、4名が北上し小屋内は静かになった。ストーブに火を入れ、6時から朝食にする。1時間もすると室温は18度まで上がりゆっくり過ごせるようになった。

午前7時5分に最初のランナーが到着、小屋内に招き入れて少しお話しする。さすがにトップランナー、余裕が感じられる。

青木さんはトップランナーを見送ってから、笠捨山捲き道の岩場補修のため行仙宿へと向かった。

一人になり掃除しようと掃除機を出していると次のランナーが到着。以後間隔をあけて次々に到着した。一名は止まることなく通過、一名はわらじ履きで風呂敷の荷物というユニークなスタイルで、自分で作った草鞋を11足持ってきたそうだ。

5月1日に深仙宿小屋で、5月8日に笠捨山捲き道でお会いした男性は、朝から体調がよくなないと遅れているようで、時間内の完走は無理だろうと話された。
最終ランナーが9時過ぎに通過した後、室内を掃除して、残ったコーラとポカリの半分を物置に入れ行仙宿に向かった。



飲料を物置に



残りの飲料を行仙宿小屋に



シンク上の台製作

登山口に到着後、M機を下ろそうと上りはじめると、オーイと声がする、川島さんだった。車に気づいてM機を降ろしてくれた。

生熊さん運転で降りてきたM機に荷物を積み、駐機場まで上がる。駐機場工事現場で飲料を8本降ろして軽くなった荷物を再び荷台に積み、行仙宿小屋に向かう。

小屋に到着後、お湯を沸かしている間にシンクの上に付ける台を作り始める。お湯が沸いた時点で昼食とする。ほぼ食べ終えたころに青木さんが小屋に戻ってきた。

青木さんも食事しながら、岩場の補修状況を聞き、しばらく休憩。その後台を仕上げてポリタンを乗せてみる。簡易水道の蛇口が完成した。



シンク上にポリタンク 点検しながら下る 駐機場で
 荷揚げした飲料を管理棟に移し、工具を片付けて小屋を離れる。
 補給路の点検もかねて駐機場まで歩いた。

青木さんは捲き道の岩場をコンクリートで補修、鉄塔横にベン
 チを設置した。



コンクリートで補修

鉄塔横にベンチ

シヤクナゲが咲いていた

行動タイム

5月14日(土)

13:20 補給路登山口→14:06 行仙宿小屋 14:30→15:25 きなりの湯
 16:00→17:08 持経宿。

5月15日(日)

持経宿 09:30→10:50 補給路登山口→11:58 行仙宿小屋 13:30→
 13:55 駐機場→15:30 補給路登山口。

(記 梶野)